

# 学校だより

No. 7

青梅市立第三小学校  
校長 平崎一美

令和2年8月19日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

## 「 継続は力なり 」 「 好きこそ物の上手なれ 」

～ 大人が支える子供の成長 ～

校長 平崎 一美

今日から、2学期が始まりました。私にとって、今日は、子供たちが元気に登校してくれ、子供たちの元気な声を聞くことができ、明るい笑顔にまた会えたことが、何よりうれしい日でした。

今年の夏は、これまでと違う夏休みになりました。いつもより短い夏休みになり、また、遠くへの旅行や帰省等ができず、家で過ごすことが多かったのではないかと思います。そんないつも違う夏休みでも、ご家族で相談して、感染予防、熱中症予防をしながら、やってみたかったこと、工夫して楽しめることをしてお過ごしになったことと思います。そんな中での、子供たちの心の中の気づきや感動を、この夏の大切な思い出にして、これからの生活の支えにしてほしいなと思います。

さて、今、高校生のプロ棋士、藤井聡太さんが、将棋界で大きな話題になっています。藤井さんは、中学生で将棋のプロになり、様々な大会で優勝し、今年、史上最年少となる17歳11カ月で棋聖のタイトルを獲得しました。自分より年上の、経験豊かな手強い相手と試合をし、勝ち続けている藤井さんが、自分のことを振り返った話がニュースの記事になっていました。



「5歳の夏に将棋を始めて、冬には地元の子供教室で1手詰、3手詰を普通に解く感じになって……。意識的に取り組んできたことではないんですが、好きだから自然に続けてきました。」と、初めは簡単なルールの将棋から始め、夢中になってやっているうちに、将棋が大好きになり、将棋を長く続けて、強くなったのではないかという話をしていました。

この話から、言い古された言葉かもしれませんが、「継続は力なり」「好きこそもの上手なれ」という言葉が思い浮かびました。どんな小さなことでも、粘り強く、コツコツと続けることで、やがて、大きな目標を達成できる。どんな物事でも、興味をもって、夢中になって取り組むことで、上手くなったり深く知ったりすることができる。時代が変わっても、社会がいかに変化しても、人が生きていく上で、励みにしたい言葉だと思いました。

子供たちには、大好きなこと、夢中になっていること、ずっと続けていることを大切にして、また、大好きなことや夢中になれることを探し、続けて楽しむことをとおして、心も体も大きく成長し、人に優しく、自分に強い人になってほしいなと願っています。また、子供たちが大好きなこと、夢中になれることに出会い、楽しみながら継続していけるように、子供たちの学びや成長を支えていきたいと考えています。

2学期も、学校では、子供たちの健康・体調管理、手洗いの徹底、3密の回避等、新型コロナウイルス感染症の感染予防を講じて教育活動を進めるとともに、暑い日の外での活動を避け、空調管理、水分補給をしっかりと行い、熱中症の予防にも努めてまいります。

ご家庭でも、健康・体調管理等、子供たちの安心・安全な生活にご協力いただきますようお願い申し上げます。